

□ 視力検診及び聴覚検診のお知らせ □

◎ 視力検診について

本市では子どもの弱視を予防するため3歳児に視力検診を実施しています。

子どもの眼は生まれたときにはまだ未熟で視力も弱いのですが、6歳位までにどんどん発達して大人並の視力になります。ところが強い遠視や斜視などが原因で視力の発達が止まると弱視になることがあります。片眼の弱視があっても子どもは何も言いませんし、また生活には不自由がないように見えます。異常がある場合には、なるべく早く発見して正しい治療をすることが大切です。

子どもが小さいうちは、視力をはかるのは難しいですが、3歳にもなると練習をすれば視力検査ができるようになります。ぜひはかってみてください。

【視力のはかり方】

☆ 検査をするときの注意

- 1) 検査は明るい部屋(楽に本が読める程度)で行ってください。
- 2) 子どもの機嫌の良いときに行ってください。
- 3) 視標は右の絵のように、子どもの眼の高さにして見せてください。まっすぐ正面を見てください。すき間から見たり、目を細めたりしないでください。
- 4) はじめは難しいかもしれませんが、何回か繰り返すと出来るようになりますので、よく練習をしてください。(途中で機嫌がわるくなったら、目を替えるなどして行ってください。)
- 5) 輪の切れ目の方向を変えるときは、必ず隠してから変えてください。

子ども用ハンドル



★ 練習しましょう

- 1) まず子ども用のハンドルをつくります(別紙参照)。
- 2) 保護者の方が練習用の視標を、お父さんが子ども用ハンドルをもち、ハンドルを回す練習をさせてください。
ハンドルを回すのが難しいときは、輪の切れ目の方向を手か指または言葉で答えさせてください。
- 3) 保護者の輪の切れ目と子ども用ハンドルの切れ目を合わせる練習をします。
上、下、左、右の4方向でやってみましょう。(3回程度)
- 4) はじめは近くで両眼をあけてやってみましょう。
- 5) 出来るようになれば、お面をつけてまず右目からハンドル合わせをしてみましょう。
次にお面をうらがえて左目でやってみましょう。



★ さあ本番です。(以下の検査の方法と注意をよく読んでください。)

検査用視標



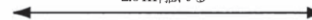
- 1) 同封のひもで2.5mの距離をはかりましょう。
- 2) 2.5m検査用視標(小さい輪)を用意してください。



目の高さで行う



2.5m離れる



ハンドルが難しいときは輪の切れ目の方向を手か指または言葉で答えさせてください。



- 3) 上の絵を参考にして検査をしてください。上、下、左、右の4方向で検査します。
●まず両眼検査をしてください。
●次に右目、左目を検査してください。
- 4) 検査結果を視力検診アンケート(クリーム色の紙)に記入してください。

記入例

見えたものには○、見えなかったものには×を記入してください。

| | | | | |
|----|---|---|---|---|
| | | | | |
| 両目 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 右 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 左 | ○ | ○ | × | × |

注意

- 検査の後、お面をつけて遊ばないでください。視野が狭く危険です。
- 視力のはかり方がよくわからない方は、保健センターにお問い合わせください。

◎ 聴覚検診について

乳幼児の聴覚障害の中でも高度の難聴は、保護者が比較的気づき易いのですが、軽度から中等度の難聴は大きな声に反応するため、保護者の方は見逃している場合があります、後になって言語発達の遅れとして発見されることが少なくありません。

そのため、本市では、軽度から中等度の難聴の発見と、その原因として多い滲出性中耳炎を早期に発見し、適切な治療を行えるように3歳児聴覚検診を実施しています。

お子さんの健康のためにもぜひ実施してください。

■ 聴覚自己検査の方法

(保護者が行う絵シートによるささやき声検査)

※絵を子どもの方向に向けて置き、1mぐらい離れ、向かい合い座る。

☆ 練習しましょう

「この絵の名前を言うから、お母(父)さんが言った絵を指さしてね。」と子どもに言って、普通の声(会話する時の声)で、絵シートの表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指させるようにしてください。

☆ さあ本番です

「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」と、子どもに言って、口元を手などで隠し、6個の絵の名前を、ささやき声で1回ずつ言い、指さしをさせてください。このとき、聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、声が大きくなりないう注意してください。

“ささやき声”の出し方

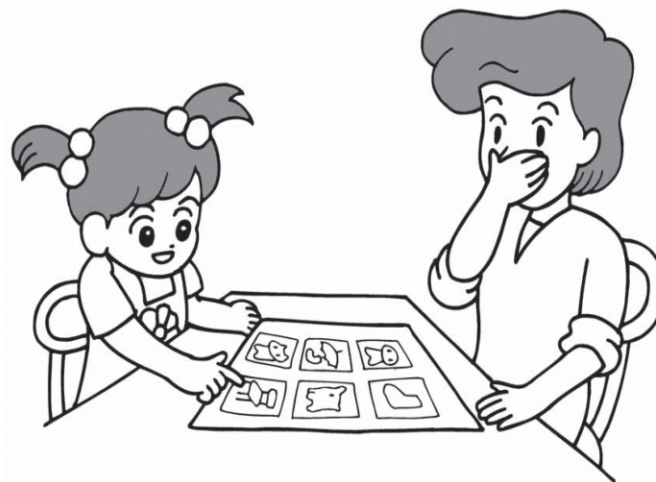
ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。

普通の声は、のど(のどぼけ)に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。この状態が“ささやき声”です。

☆検査結果を下の記入例をみて別紙の「聴覚検診アンケート」(水色の紙)の下欄に記入する。

記入例

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| いぬ | くつ | かさ | ぞう | ねこ | いす |
| ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |



家庭での検査ができなかった場合は、アンケートのみ記入して、健康診査当日に持参してください。